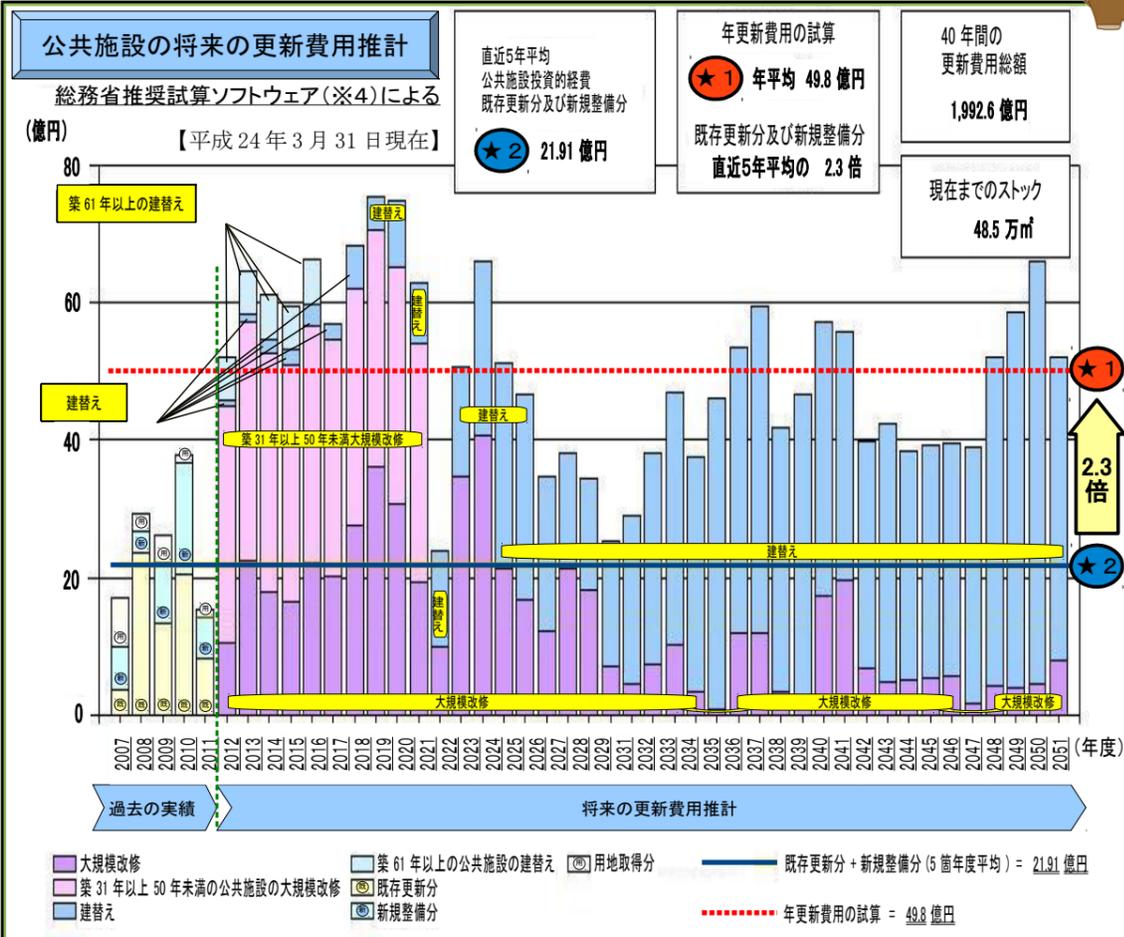


公共施設の将来の更新費用推計について

あまり意識していなかったけど、公共施設も年老いていることがわかったし、使用し続けるなら大規模改修や建替えが必要ね
全部の公共施設を大規模改修や建替えすると、一体どのくらい経費がかかりそうなの？



総務省推奨試算ソフトウェア(※4)によれば、今後の更新等の費用を推計した結果、事業費ベースで年平均49.8億円かかり、市が実際に公共施設の整備等で支出している直近5年間の平均投資的経費の2.3倍の金額が必要だと試算されました。
単価などの詳しい推計条件等は、白書(本編)で説明していますのでご覧ください。



みんなが、安全で安心して利用できる公共施設の更新等はとても大事ね！
こんなに公共施設があるんですもの、市民活動などで、もっともっと利用していきたいですね。



今回、市民の皆様へ、白書を通して公共施設の現状についてお知らせしました。
市民の皆様には、より活発に公共施設を利用していただきたいですね。
今後、市民の皆様とともに、次世代へ引き継いでいくことができる公共施設のあり方について検討していきます。



白書(本編)については、市ホームページ・企画調整課・市政情報コーナー・各支所(まちづくり推進課)・各市民センターでご覧いただけます。

会津若松市
担当所属: 企画政策部企画調整課行政経営グループ
電話: 0242(39)1201 ファックス: 0242(39)1400
ホームページ: <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

※4...財団法人自治総合センターが開催した「平成22年度地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会」において開発され、作業簡素化のために総務省により一部変更が加えられた更新費用試算ソフトウェアです。

公共施設の現状について



～八重たん～

こんにちは！新島八重マスコットキャラクターの「八重たん」です。よろしくお願ひします。

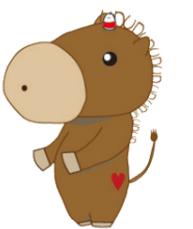
今回、「会津若松市公共施設白書」が公表されたそうなので、その内容について、「ゆにばくん」に色々教えてもらいま～す！

えっと、まずは、どうして白書を作成したのかしら？

こんにちは！会津若松市ユニバーサルデザイン推進イメージキャラクターの「ゆにば」です。皆様には「ゆにばくん」と呼ばれています。よろしくお願ひします！

市では、公民館やコミュニティセンター、スポーツ施設、小中学校、幼稚園、保育所、デイサービスセンター、庁舎、市営住宅など、様々な公共施設を建設し、市民の皆様へのサービス向上に努めてきました。

～ゆにばくん～



今後、公共施設の老朽化に伴い、大規模改修や建替えが必要になる時期を迎えますが、人口減少や少子高齢化などにより、多額になることが見込まれる経費の確保が懸念され、全国の多くの自治体でも大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、市では公共施設の適正な配置と効果的・効率的な管理運営を図るため、将来の公共施設のあり方について、検討していくこととしました。

この度、市の公共施設の現状を総合的な視点から把握・分析し、市民の皆様とともに今後の公共施設のあり方を検討するための基礎資料として「会津若松市公共施設白書」を作成しましたので、ご紹介します。

対象にしている公共施設について

なるほど！
ところで、この白書では、どんな公共施設を対象にしているの？



学校や公民館、公営住宅等全ての公共建築物(382施設)を対象にしています。



主な公共建築物



公民館などの市民文化系施設	27施設
社会教育系施設	2施設
スポーツ・レクリエーション施設	29施設
産業系施設	6施設
小中学校などの学校教育施設	49施設
幼稚園などの子育て支援施設	32施設
デイサービスセンターなどの保健・福祉施設	14施設
医療施設	1施設
庁舎などの行政系施設	39施設
消防屯所等	107施設
公営住宅	27施設
公衆トイレなどの公共建築物がある公園	37施設
その他	12施設
(※1)	総数 382施設

※1...財団法人自治総合センターが開催した「平成22年度地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会」において開発され、作業簡素化のために総務省により一部変更が加えられた更新費用試算ソフトウェア上での分類毎の施設数を表示しています。

公共施設の建築推移について

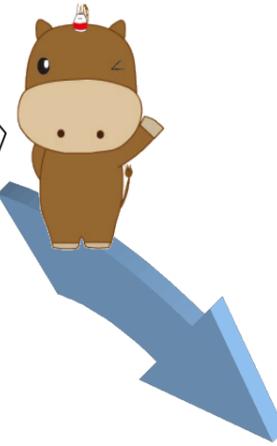
つまり、建物ね！
この白書で、一体、
どんなことがわかるの？



対象の建物を用途別に分類し、表やグラフにより、
3つの視点でその現状をわかりやすく説明しています。



右図では、公共施設の建築推移をグラフ化しています。



公共施設にかかるコストについて

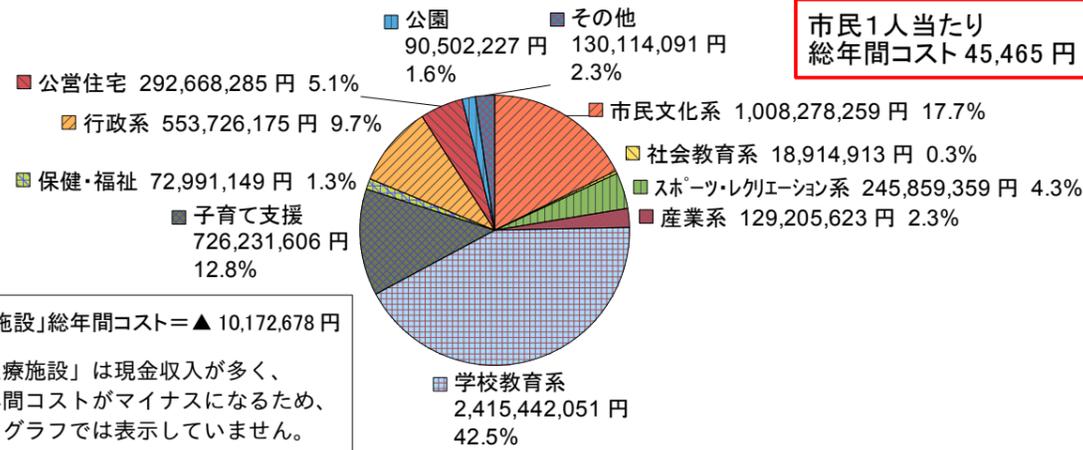


結構古い建物も
たくさんあるのね！
この公共施設に
どれだけのコストをかけているの？

平成23年度1年間で、減価償却費(※2)を
含めた総年間コスト(※3)として、
合計約56億7,400万円かかっており、
市民1人当たりすると約45,000円の
負担となっています。



公共施設総年間コストと用途別割合【平成23(2011)年度決算】



総年間コスト合計
5,673,761,060円
市民1人当たり
総年間コスト45,465円

「医療施設」総年間コスト＝▲10,172,678円

「医療施設」は現金収入が多く、
総年間コストがマイナスになるため、
右円グラフでは表示していません。



学校教育系施設と
市民文化系施設と
子育て支援施設で
約7割以上を
占めているのね！

あの～、となると、各公共施設は
どのくらい利用されているの？

直接、市民が利用しない倉庫などもあるため、
利用人数などの全公共施設の合計値をお示し
することはできませんが、白書(本編)(当資料4
ページ下段)のなかで、各用途別に利用人数や
稼働率などをグラフ等で表示しています。

用途別・施設別のストック・コスト情報と
ともに、ぜひ白書(本編)をご覧ください。



※2…減価償却費：通常、市の会計では計上しない資産価値の減耗額を意味します。

※3…総年間コスト：＝現金支出－現金収入＋減価償却費

人口の推移

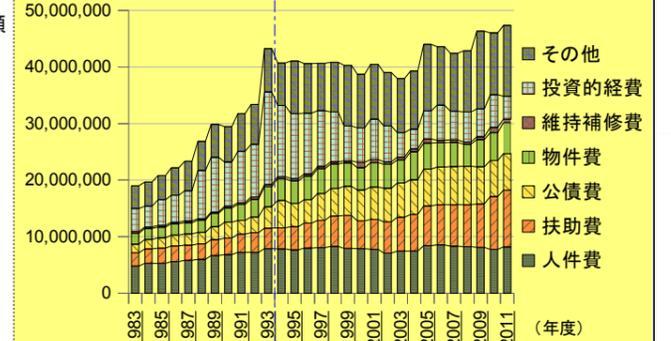
平成24(2012)年4月1日現在の現住人口 124,795人



歳出の推移

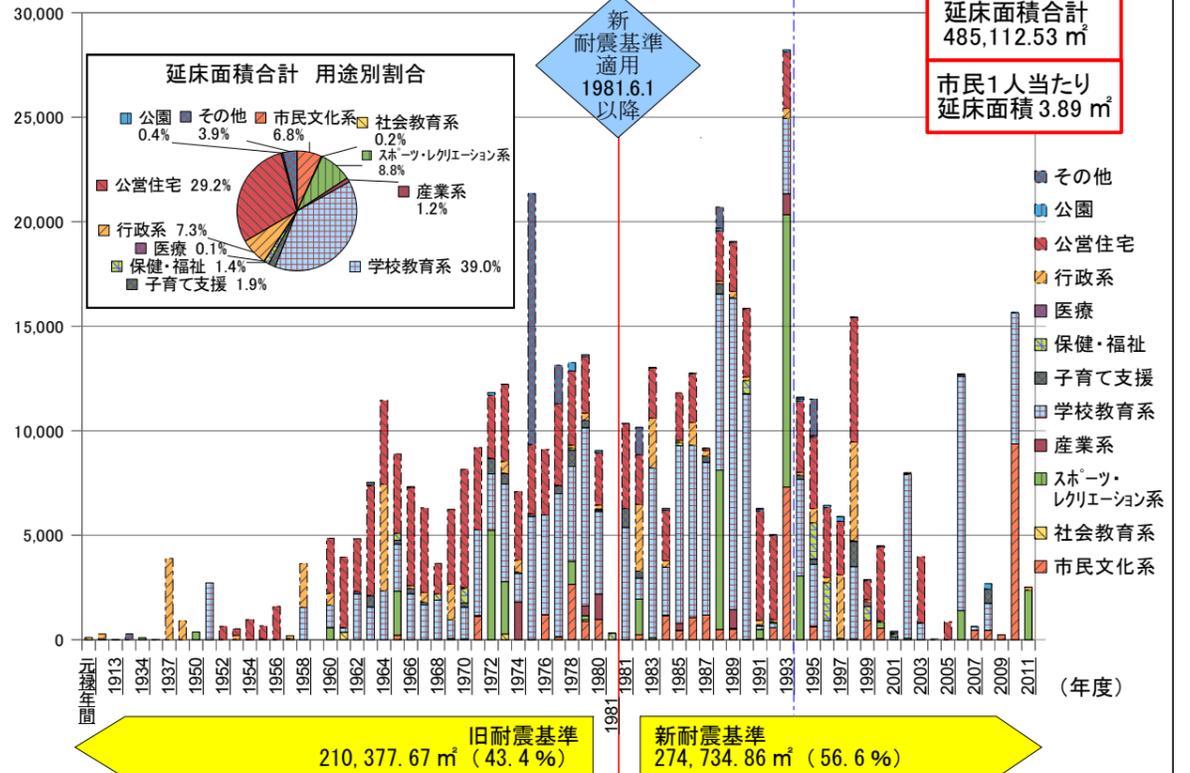
【平成23(2011)年度 普通会計決算額 47,356,878千円】

- 2004・2005年度 | 平成15(2003)年度以前は旧会津若松市のみの金額
平成16(2004)年度に旧北会津村と合併
平成17(2005)年度に旧河東町と合併
- 扶助費 | 生活保護などの福祉施策に係る経費
- 公債費 | 借入金の元利償還金など
- 物件費 | 賃金、旅費、需用費、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料など
- 維持補修費 | 市が管理する公共施設の維持補修に要する経費
- 投資的経費 | 道路や橋を含む公共施設の整備などの経費
- その他 | 補助金、負担金、積立金など



公共施設の建築推移

(㎡)【平成24(2012)年3月31日現在】



対象施設数
合計382施設

延床面積合計
485,112.53㎡

市民1人当たり
延床面積3.89㎡

